

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和5年 2月 28日

事業所名: 児童発達サポート ガリレオキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		十分なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		適切に配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		事業所がクリニック併設のため、階段や狭い通路もありますが、子供たちの安全に十分に配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		新型コロナウイルス感染症蔓延期間中であり、徹底した感染管理を行い、衛生面に配慮しています。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		PDCAサイクルを利用し、支援内容の設定や見直しを職員一同で随時行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者からの事業所評価をもとに不十分な内容を職員一同周知し、改善目標を検討し実施できるような計画を立案しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<input type="radio"/>		昨年は定期的な会報などを発行することが出来なかった。今年度は発達支援事業に関する情報を会報などを作成し、ホームページなどを用いて保護者に広く情報公開します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		今年度は、第三者による外部評価を取り入れることを検討しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			併設クリニックを通じて、医師会などから児童発達に関する研修があり、職員は積極的に研修に参加している。
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		遠城寺式発達検査を定期的に実施し、現状の発達状況を把握し、支援計画の作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		それぞれの子どもの特性を確認しながら、運動機能・社会性・コミュニケーション能力・巧緻動作等の項目について評価し、保護者や職員が現状を理解し情報を共有しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿って支援内容の設定を行っている。特に運動機能に関しては、整形外科医師、理学療法士と密に連携をとり、意見を話し合いながら支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		職員全員がそれぞれの子どもたちの特性を理解し、それを基に計画された支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		併設の整形外科の特性を生かし、医師や理学療法士も参加し、運動機能の評価と活動プログラムをチームで作成している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		運動療育に水泳プログラムを導入するなど、活動内容に工夫を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		年齢や発達状態の違いを考慮し、個別主体で対応するか、適宜集団活動を組み込むか、検討し実施している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		毎日活動前に、職員間で参加する子どもたちの支援内容を確認し、職員の役割を決定し支援に入るよう準備している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		活動終了後、毎日、その日の支援内容や子供たちの状態、目標達成点や反省点を話し合い、記録を挟み、次回の支援目標を掲げている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		活動終了後に、支援中の問題点や気づいたことなどを整理し、必ず日誌に記録しすべての職員が確認できるように記録を残している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		それぞれの子どもたちに対して定期的にモニタリングし、目標達成状況を検証し、不十分な結果について見直しを検討している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が必ず参加している。医療的な支援や管理が必要な子供に関しては事前に医師から情報を得て、会議に情報提供を行っている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		新型コロナウイルス感染症蔓延下のため
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			重度心疾患や遺伝子欠損症、てんかん症の子どもたちを受け入れ、主治医や保健・福祉関係者と密に連携を取り、医師の監視のもと支援を行っている。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			併設クリニック医師の協力のもと、主治医や関係医療機関と情報共通し連携を整えている。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		電話連絡を取るなどしている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学前相談に積極的に参加し、小学校との情報共有を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他の事業所職員や相談員との連携を積極的に取り、複数の事業所に通所している子どもたちの情報を共有し、支援計画に反映させている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		新型コロナウイルス感染症蔓延下のため控えている
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		新型コロナウイルス感染症蔓延下のため控えている
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳やSNS、電話などを用いて活動内容を共有している。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングを行うための専門的技術が不十分なため、今後の活動課題として検討しています。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始時や契約時に説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者に計画内容を説明し確認をいただき、署名をいただいている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		定期的ではないが、活動状況を報告した際に相談を受ける場面があり、可能な範囲で助言や支援を行っている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		新型コロナウイルス感染症蔓延下のため控えている
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		児童発達支援管理責任者が窓口となって随時対応している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		主にSNSを用いて活動内容を情報発信している。	会報はホームページ上に公開を計画中である。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員間で十分に配慮し、取り扱いについて保護者の同意を得ている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的、聴覚的、触覚的情報伝達方法など、それぞれの子どもたちの障害特性に応じた情報伝達方法を常に模索し、支援に取り入れている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		新型コロナウイルス感染症蔓延下のため控えている

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを整備し、災害時訓練を定期的に行っている。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		併設クリニックと同様の対応を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保護者の同意を得て、主治医から情報をいただき、疾患特性や服薬内容、急変時の対応などを確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アセスメント時に確認し、対応している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例の記録を徹底し、その検証を常に行い、職員間で予防方法について検討し周知している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを整備し、定期的に研修を受けている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		マニュアルを整備し、全職員が身体拘束について理解している。現在該当者なし。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)